

近江楽座

2015

まち・むら・くらしふれあい工舎

学生も

大学も

地域も、

いっしょに育つ。



STUDENT FARM

「近江楽座」＝学生らしさを活かして、地域に学び、育ち、貢献できる場

「近江楽座（おうみらくざ）」とは？

滋賀県立大学の“スチューデントファーム「近江楽座」まち・むら・くらしふれあい工舎”は、地域貢献を目的とする学生主体のプロジェクトを募集、選定して、全学的に支援する教育プログラムです。平成16年度に文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）」に採択され、平成18年度までの3年間の活動実績が大学発地域貢献の先進的な取り組みとして、学内外で高く評価されました。そして、翌平成19年度からは大学独自の予算を用いてプログラムを継続し、これまでに培ってきたノウハウや地域とのつながりを活かし、さらなる活動を展開しています。

教育効果を高め、大学と地域の連携を深めるための3つの目標

- 地域の課題に大学・学生が取り組み、地域の活性化に向けて共に活動する。
- 学生が地域の方々と一緒に活動することにより、学内だけでは学べないことを体験する。
- 大学と地域が共同して、よりよい地域づくり・人づくりにつながるしくみをつくる。

3つのサポートシステム

近江楽座専門委員会・学生委員会・近江楽座事務局（地域共生センター）の連携の下、3つのサポートシステムにより、全学的に活動を推進しています。

- **活動助成システム**
“スチューデントファーム「近江楽座」”として選定されたプロジェクトの事業計画に基づき、活動に必要な事業費を審査し、助成します。
- **コンサルティングシステム**
教員の指導・助言に加え、行政や専門家の紹介など、学生がプロジェクトを進めていくために必要なコンサルティングを行います。
- **地域「知」のリソースシステム**
大学と地域連携に係わる情報を他大学、研究機関、行政、NPO団体などと共有・活用するためのデータベースを構築し、活動をサポートします。

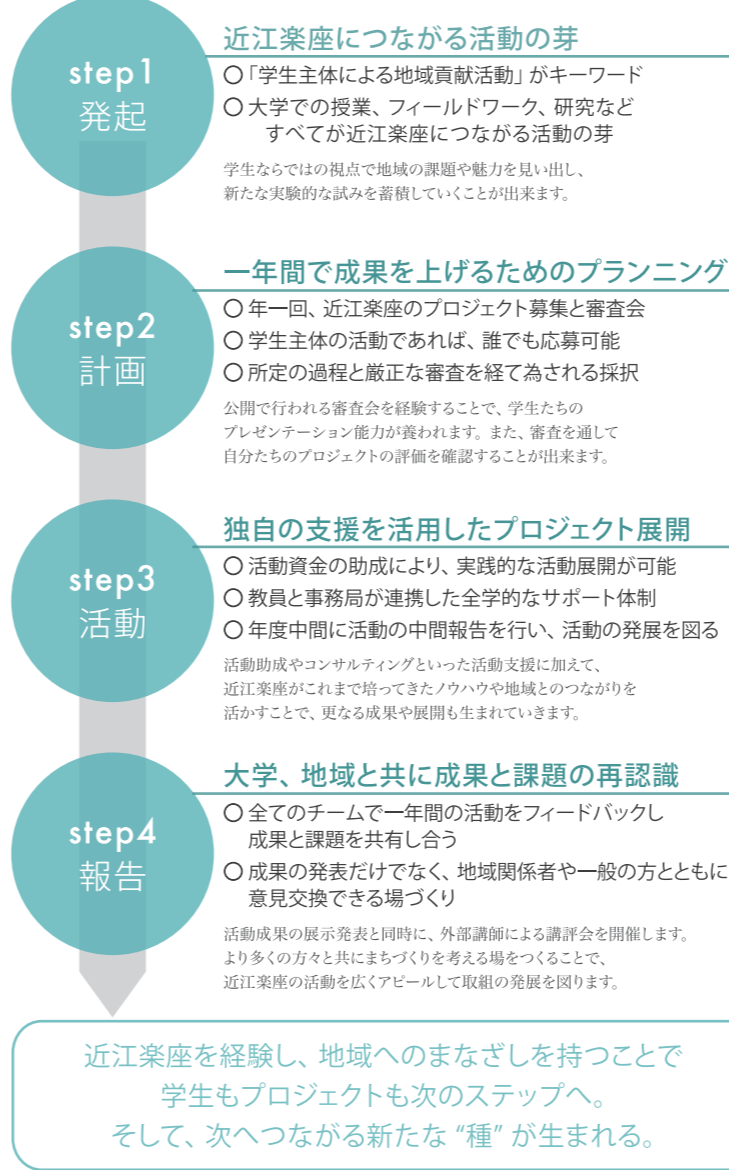
プロジェクトタイプ

平成19年度より、「地域活性化への貢献」をテーマに学生主体の地域活動を行う「Aプロジェクト」に加え、新たに、自治体や企業等から提示された課題について、学生主体のプロジェクトチームを結成し活動する「Bプロジェクト」がスタートしました。

- **Aプロジェクト**
「地域活性化への貢献」をテーマとする学生主体の地域活動を募集します。昨年度までの継続活動を対象とした①「継続プロジェクト」、新規活動を対象とした②「新規プロジェクト」、さらに新たに③「Sプロジェクト」として、これまでの実績をもとにステップアップを目指すプロジェクトで、活動資金の助成を必要としないプロジェクトの3つの区分で募集し、支援するプロジェクトを選定しています。
- **Bプロジェクト**
自治体や企業、団体等から依頼のあった課題について、「近江楽座」として取り組むテーマを設定し、学生主体のプロジェクトを募集します。学生チームにはテーマに対する企画提案を求め、採択されたチームは、指導教員と地域共生センターがフォローし、依頼先と共同で取り組みます。

- **Aプロジェクト**
「地域活性化への貢献」をテーマとする学生主体の地域活動プロジェクト。
 - 継続プロジェクト
 - Sプロジェクト（平成23年度より開始）
活動資金の助成を必要とせず、これまでの実績をもとにステップアップを目指す取組
 - 新規プロジェクト
- **Bプロジェクト**
学生主体のチームが自治体や企業等から提示された課題に、プロポーザル方式で企画提案を行い、選定されたチームと依頼先とが共同で取り組むプロジェクト（平成19年度より開始）

MANAGEMENT CYCLE



公開プレゼン



交流会



中間報告会（10周年記念企画）



成果発表会

SCHEDULE 2015-2016

4月 / April
 新入生オリエンテーション (4/8)
 2015年度プロジェクト学内公募 (4/10-5/7)
 2014年度活動報告会 (4/18)
 応募説明会 (4/20)
 合同説明会 楽座市 (4/22-23)

5月 / May
 2015年度公開プレゼンテーション・審査会 (5/16)
 2015年度採択プロジェクト発表 (5/22)

6月 / June
 プロジェクト活動開始
 活動説明会 (6/1)
 20周年記念式典・湖風夏祭 (6/6)
 交流会“ソロソロ会”開催 (6/17)

7月 / July
 「おうみらくざプロジェクトレポート」発行開始
 スキルアップ講座 (7/13,15)
 滋賀県立大学オープンキャンパス2015 (7/25-26)

9月 / September
 交流会“ソロソロ会”開催 ※予定

10月 / October
 2015年度 中間報告会

11月 / November
 湖風祭 (11/14-15)
 スキルアップ講座 ※予定

3月 / March
 活動実績報告

4月 / April
 2015年度 活動報告会

ウェブサイトの情報が充実！

近江楽座HPサイトがリニューアル！各プロジェクトについてはもちろん、楽座人物図鑑や楽座文庫などのコンテンツがあり、さらに検索機能ができました。過去のプロジェクトについても知る事ができます。

プロジェクトレポート発行中！

事務局スタッフが実際に取材、プロジェクトの生の様子を伝えていきます。レポートは近江楽座ウェブサイトが、学内の掲示板でチェック！

ソロソロ会でチーム間の交流！

学生委員会が主体となり、定期的に行う交流会。他のチームの学生と交流し、楽座について語るきっかけにもなっています。

近江楽座でスキルアップ！

楽座に関わる学生や地域活動に興味のある人を対象にセミナーを開催。講師には学内外から幅広い分野の方々をお招きします。

PROFILE

近江楽座専門委員会
 滋賀県立大学の社会貢献活動の高度化・活性化を図る、地域共生センター運営委員会の一専門委員会であり、近江楽座のプログラムにおける企画・運営、プロジェクトの公募・審査、広報や学外交流などの議案を審議し、事業全般を推進することを目的とした教員による組織です。メンバーは各プロジェクトの指導教員だけでなく、それ以外の教員も含めた全学的な構成となっており、より広い視野で学生主体の地域貢献活動をサポートしています。

近江楽座事務局
 近江楽座専門委員会の実務を担い、プロジェクトの募集や活動助成、予算の執行管理、活動成果まとめ、報告会の企画・実施等を行うとともに、チームの活動に対する指導や助言を行っています。また、取材や視察、協力要請といった外部からの問い合わせ窓口や活動紹介印刷物の発行やホームページの運営を行い、広報・発信面でのサポートを行っています。

— VOICE / 先輩の声 —

他とは違う学生生活

大学の講義では何をすればいいか教えてくれるが、近江楽座では自分たちで考えて何をするか見つけていく。自分の知らないことに対して興味を持ちたりアンテナを広げていく感覚が楽座を通して身に付いていく。楽座に入っていなければこの経験はなかったし、地域の人と一緒にしたことは後々よかったと思う。学んだことを直接活かしたい子にはいいと思う。そして、ちょっと普通じゃない学生生活を送れたことが楽しかったなと思うのが近江楽座だと思います。

学生はハレとケでいうハレ、非日常

地域にはまちづくりの担い手はたくさんおり、自分たち学生はその中の一員として動いていたという感覚がある。近江楽座は学びや成長のできるきっかけの場だが、そこには周りの人たちがいて、周囲の声をどう取り入れて自分たちの想う活動に活かしていけるか、それを活動の中では心がけていた。そうした中、「学生たちが地域に入ること、日常となっていた生活が非日常へと化した」と、地域の人が言って下さった。学生は外の人だが、ある意味で受け入れられてもいるということを知って欲しい。

- 本間浩平（株式会社本庄）
ART FORUM DIG'S - 近江八幡を掘り出し！ - (2009～2011)
近江楽座学生委員会 (2010～2011)
- 小島 なぎさ（NPO法人田の浦ファンクラブ事務局スタッフ）
ほたてあかりプロジェクト (2012-2013)
田の浦ファンクラブ学生サポートチーム (2013-2014)
ハンティラ・ジ・オウロ (2011-2012)

